

ごみの減量と資源化トピックス

さんまる いちまる
30・10運動

会食の際に、最低でも開始後30分と終了前10分は料理を楽しむ時間にしようという運動です。

特に宴会は、出席者同士の楽しい会話が主役になることが多いですが、せっかくの料理を残してしまってもったいないですし、食べ物やその作り手、幹事の人の気持ちを考えると、申し訳ない気持ちになります。



幹事の人からの呼びかけや、参加者の心がけで食べ残しは減ります。まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」を減らしましょう。

問い合わせ先 生活環境課
☎ 30-6116、FAX27-0395

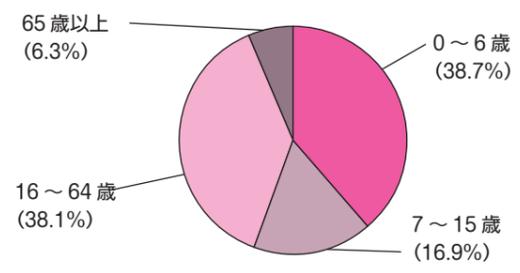
- <外食の際は、次のことを意識しましょう>
- ▶ まずはお店の人と相談して、適量を注文しましょう。
 - ▶ 開始後30分は席を立たずに、できたての料理を楽しみましょう。
 - ▶ 食べ残しや飲み残しのないようにしましょう。
 - ▶ 料理がたくさん残っているテーブルから少ないテーブルへ料理を分けましょう。
 - ▶ 宴会終了10分前には自分の席に戻って、もう一度料理を楽しみましょう。

湖東定住自立圏（彦根市と愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町との広域連携）の具体的な取り組み

■ 休日急病診療所の運営と救急医療体制の充実
休日急病診療所（診療日：日曜日、祝日、年末年始）は、1次救急の医療機関として軽度な症状の患者を対象に、内科・小児科の診療を行っています。重症のおそれや検査・入院が必要な場合は、同敷地内の市立病院を紹介するなど医療連携を図っています。小児救急では市立病院が救急体制をとっています。
高度な医療を行う2次救急医療体制として、市立病院、彦根中央病院、豊郷病院、友仁山崎病院が当番制で医療体制を確立しています。

平成30年度彦根休日急病診療所受診状況表

年齢別内訳 (単位：人)				
0～6歳	7～15歳	16～64歳	65歳以上	計
1,804	788	1,775	293	4,660



■ 周産期医療体制の確立
市立病院では、湖東保健医療圏の中核病院として、ハイリスク分娩にも対応できるように産婦人科診療体制の維持・充実に努めています。

小児科その他の関係診療科と連携を深め、母子ともに安全・安心な周産期医療体制の構築に取り組んでいます。

■ 医療福祉推進センターの運営
湖東地域の医療福祉の拠点として、住み慣れた場所でも誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

在宅での医療や看取り、介護についての情報発信や医療機器の貸出、地域の医療と福祉との連携促進、医療福祉の現場で働く人々の支援（研修会の開催など）を行っています。

■ 消防・救急業務
消防では火災や救助などへの消防体制の強化を図り、より安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。
救急では、緊急を要する傷病者に迅速な対応ができる体制を目指します。

問い合わせ先 健康推進課 ☎ 24-0816、FAX24-5870

(単位：件)

【問1】 発行回数について	【問2】 よく読む記事または 関心のある記事（複数回答）	【問3】 市の情報を知るためによく 利用する手段（複数回答）
現在と同じ 月2回が良い	14	表紙 13、とぎの玉手箱 7、特集 17、博物館だより 6
月1回でも 良い	33	情報掲示板 25、チケット情報 7、募集 11、湖東定住自立圏の具体的な取り組み 3
その他 (うち4件は月1回 以下または発行なし)	5	イベント 26、低炭素社会トピックス 3、相談 4、消費生活センターつうしん 10
無回答	4	消防だより 4、ごみの減量と資源化トピックス 13、健康だより 15、話題のひろば 6、すくすくベイビー 3、シティブロモーション通信 1、ブラジルへようこそ! 2、その他 4、たちばな号巡回予定 5、無回答 9、し尿収集予定 3
		広報紙 38、ホームページ 12、アプリ(ひこまち) 5、SNS 1、テレビ 6、新聞 27、ラジオ 8、その他 3、無回答 8



広報紙アンケート結果
広報ひこね8月1日15日号と彦根市ホームページに掲載した「広報ひこねアンケート」では、56通の回答をいただきました。
主な内訳は、左表のとおりです。
お寄せいただいた意見は、紙面の充実や改善、発行に関してなど、今後の広報紙づくりの参考にさせていただきます。貴重な意見をありがとうございました。お問い合わせ先 広報課 ☎ 30-6103番、FAX22-13008番

第6回

ブラジルへようこそ!



ブラジルの母国語って何?

私がブラジル出身と言うと、「ブラジルの母国語は何ですか。ブラジル語? スペイン語? 英語?」とよく聞かれます。知っている人もおられると思いますが、ブラジルの母国語は「ポルトガル語」です。

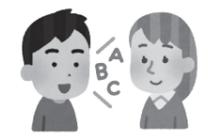
スペイン語やイタリア語、フランス語などと同じく、ポルトガル語はラテン語から派生してきた言語です。ラテン語から派生した言語は、すべてローマ字が使われていて、よく似た文法規則を持っています。また、似ている単語がたくさんあります。だから、ポルトガル語が話せるようになると、ラテン語から派生してきた他のいろいろな言語を学びやすくなります。

ポルトガルは世界で7番目に多く話されている言語であることはご存知でしょうか。ポルトガル語を母国語とする2億人以上のネイティブスピーカーが世界各国に広がっています。それは、15世紀と16世紀に行われたポルトガル人の大航海と植民地化によるもので、その結果、ポルトガル語は南アメリカのブラジルや、アフリカのアンゴラ、モザンビーク、ギニアビサウ、アジアの東ティモール、中国のマカオ、イ

ンドのゴアなどに持ち込まれ、10の国と地域で公用語として使われるようになりました。

そんな世界各国で使われているポルトガル語のあいさつを紹介します。皆さんもあいさつを覚えて、ポルトガル語を話す人と出会ったとき、ポルトガル語で話しかけてみてはどうでしょうか。きっと喜ばれると思います。

- ▶ Oi(オイ), tudo(トゥド) bem(ベン)?
こんにちは、お元気ですか。
- ▶ Meu(メウ) nome(ノメ) é(エ) Julia(ジュリア).
私の名前はジュリアです。
- ▶ Bem(ベン)-vindo(ヴィンド)!
ようこそ。
- ▶ Muito(ムイントゥ) obrigado(オブリガド)! 【男性が言う場合】
Muito(ムイントゥ) obrigada(オブリガダ)! 【女性が言う場合】
ありがとうございます。



【彦根市国際交流員 オカモト・ジュリア・ユリ】